

第1回

**サッカー等スタジアム
整備検討協議会
幹事会合同会**

日時：平成29年3月27日（月）15:30～

場所：みなと大通り別館6階会議室

会次第

- 1 委嘱状の交付(市長)
- 2 開会あいさつ(市長)
- 3 委員及び事務局紹介
- 4 サッカー等スタジアム整備検討協議会について
- 5 会長/副会長選出
- 6 報告事項
 - I スタジアムを取り巻く状況について
 - II 当面のスケジュール
- 7 閉会

【配布資料】

- 協議会委員名簿
- 幹事会委員名簿
- サッカー等スタジアム整備検討協議会設置要綱

サッカー等スタジアム 整備検討協議会について

○設置目的

- ・サッカー等スタジアムに係る基本的な事項について協議する。

○協議事項

- ・整備の必要性、場所、整備主体、スケジュール等

○委員等

- ・委員の任期は平成30年3月31日までとする。
- ・必要に応じて、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことが出来る。
- ・協議会の運営を円滑に行うため、幹事会を置く。

【参考】サッカー等スタジアム整備検討協議会設置要綱(資料)



報告事項

I スタジアムを取り巻く状況について



1 国の動き

日本再興戦略2016

日本経済再生本部「日本再興戦略2016」

参考資料1

「日本再興戦略2016」における名目GDP600兆円に向けた「官民戦略プロジェクト10」

官民戦略プロジェクト10

1-1 新たな有望成長市場の創出

- ① 第4次産業革命の実現
- ② 世界最先端の健康立国へ
- ③ 環境エネルギー制約の克服と投資拡大
- ④ **スポーツの成長産業化**
- ⑤ 既存住宅流通・リフォーム市場の活性化

1-2 ローカルアベノミクスの深化

- ⑥ サービス産業の生産性向上
- ⑦ 中堅・中小企業・小規模事業者の革新
- ⑧ 攻めの農林水産業の展開と輸出促進
- ⑨ 観光立国の実現

1-3 国内消費マインドの喚起

- ⑩ 官民連携による消費マインド喚起策等

具体的
目標・
施策

日本再興戦略2016におけるKPI（数値目標）

- スポーツ市場規模の拡大 ● スポーツ実施率※の向上
- 5.5兆円（2015） → **15兆円（2025）**
- 40.4%（2015） → **65%（2021）**

※成人の週1回以上のスポーツ実施率

i) スタジアム・アリーナ改革 （コストセンターからプロフィットセンターへ）

- ① スタジアム・アリーナに関するガイドラインの策定
- ② 「スマート・ベニュー」の考え方を取り入れた多機能型施設の先進事例形成支援

ii) スポーツコンテンツホルダーの経営力強化、 新ビジネス創出の推進

- ① 大学スポーツ振興に向けた国内体制の構築
- ② スポーツ経営人材の育成・活用プラットフォームの構築

iii) スポーツ分野の産業競争力強化

- ① 新たなスポーツメディアビジネスの創出
- ② 他産業との融合等による新たなビジネスの創出
- ③ スポーツ市場の拡大を支えるスポーツ人口の増加

1 国の動き

スタジアム・アリーナ改革(コストセンターからプロフィットセンターへ)

①ガイドラインの策定

魅力的で収益性を有するスタジアム等への転換を図るため、施設の立地、アクセス、規模、付帯施設等、整備や運用に関するガイドラインを取りまとめる。

②多機能型施設の先進事例の形成支援

公共施設や商業施設等との複合機能を組み合わせるなど、持続可能な交流施設としてのスポーツ施設(スマートベニュー)設置に取り組む地方公共団体への専門家派遣等の支援を検討



2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を最大限に活用し、スポーツ産業を我が国の基幹産業へ

2 本市の施策体系における位置づけ

(第五次総合計画後期基本計画)

項目	内容
都市像	人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま
基本目標	3 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち【にぎわい交流政策】
基本施策	1 地域特性を生かした観光・交流の推進
現状と課題	IV 近年、スポーツイベントへの参加やプロスポーツの応援・観戦ツアーなど、スポーツ・ツーリズムへの関心が高まっています。このようなニーズに対応し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る取組が求められています。
基本的方向	IV 鹿児島ユナイテッドFCなどのプロスポーツチーム等への活動支援や、鹿児島マラソン等のスポーツイベントの開催など、魅せるスポーツコンテンツづくりを推進します。また、本市のスポーツ振興や魅力の情報発信につながるスポーツキャンプの誘致・受入を推進します。
単位施策	IV スポーツ・ツーリズムの推進
主な取組	魅せるスポーツコンテンツづくり ◆プロスポーツチームの育成支援と競技場などの施設整備



3 市・県の取組み

項目	市	県
名称	サッカー等スタジアム整備検討協議会	未定
構成員	13名	15名程度(学識、スポーツ専門家、関係団体等)
設置時期	H.29.3.27	H29.4月(予定)
対象施設	・サッカー等スタジアム	・総合体育館 ・ドーム球場 ・サッカースタジアム

4 市内の主な施設の状況

施設	広さ(m ²)	場所	立地・観客席
ふれあい スポーツランド	約28,000m ² (グラウンド2面)	中山町591-1 (中央駅より車で30分)	・郊外 ・座席なし
県立サッカー ラグビー場	約50,000m ² (グラウンド3面)	中山町433番地 (中央駅より車で30分)	・郊外 ・座席あり(約720席)
健康の森公園	約11,000m ² (グラウンド1面)	犬迫町825番地 (中央駅より車で25分)	・郊外 ・座席なし
鴨池陸上競技場	約30,000m ² (グラウンド1面)	与次郎2丁目2番2号 (中央駅より車で10分)	・市街地 ・座席あり(改修後、約12,500 席の見込み)

5 鴨池陸上競技場のJ1・J2ライセンス 基準の充足状況

ライセンス交付規則第9章施設基準より抜粋

項目	等級 ※		鴨池陸上競技場の充足状況 (国体改修後)	
	J1	J2	J1	J2
入場 可能数	15,000人 以上	10,000人 以上	× (改修後、約12,500席 の見込み)	○ (改修後、約12,500 席の見込み)
屋根	観客席の3分の1以上が覆わ れていなければならない		× (改修後カバー率約9%の見込み)	

※等級について

A:未充足の場合、交付不可

B:未充足の場合、制裁が科され得る(ただし、現在B等級の基準が今後A等級に
変わる可能性があるとのこと)

報告事項

Ⅱ 当面のスケジュール(予定)

日程	件名	内容
平成29年5月 14日(日)～15日(月)	5月14日(日) ・ <u>試合観戦</u> (北九州VS鳥取) 5月15日(月) ・ <u>スタジアム視察</u>	【視察先】 ・ミクニワールドスタジアム (北九州市) ・えがお健康スタジアム (熊本市)
平成29年6月上旬	第2回サッカー等スタジアム整備検討協議会 <u>幹事会</u>	・整備の必要性 ・整備コンセプト等
平成29年6月下旬	第2回サッカー等スタジアム整備検討協議会	・整備の必要性 ・整備コンセプト等

※平成29年度内に、協議会、幹事会共に4回程度開催予定

【参考】九州におけるスタジアムの状況

都市名	スタジアム名	座席数	ホームチーム
福岡市	レベルファイブ スタジアム	22,563席	アビスパ福岡 (J2)
北九州市	ミクニワールド スタジアム	15,300席	ギラヴァンツ北九州 (J3)
鳥栖市	ベストアメニティ スタジアム	17,783席	サガン鳥栖 (J1)
諫早市	トランスコスモ スタジアム長崎	20,246席	V・ファーレン長崎 (J2)
熊本市	えがお健康 スタジアム	32,000席	ロアッソ熊本 (J2)
大分市	大分銀行ドーム	40,000席	大分トリニータ (J2)
宮崎市	KIRISHIMA ハイビスカス陸上競技場	約7,000席	無し
鹿児島市	鹿児島県立 鴨池陸上競技場	約12,500席 (改修後)	鹿児島ユナイテッドFC (J3)

【参考】九州におけるスタジアムの状況

・ミニワールドスタジアム整備(北九州市)



- ・新幹線駅からの
近さが全国一
- ・海に隣接するスタ
ジアム(全国初)

【参考】九州におけるスタジアムの状況

・えがお健康スタジアム(熊本市)

